

要件事項	<p>< NACCS パッケージソフト > 受信電文の PDF 形式での自動保存可能化</p>
機能概要	<p>< 変更前仕様 > 受信電文を PDF 形式で自動保存する機能がない。既存の自動印刷機能で仮想プリンターを使用することで PDF 化は可能だが、自動印刷時に都度ファイル名を設定する作業が発生する。</p>
	<p>< 変更後仕様 > 「PDF ファイル自動保存機能」を新規追加することで、全自動で受信電文の PDF 保存を可能とする。 ・ オプション設定により、保存対象業務及び保存先を指定可能とする。 ・ PDF 作成には、Windows10 標準搭載の「Microsoft Print to PDF」を使用し、PDF 作成後、オプション設定で指定したファイル名を付与し、保存する。</p>

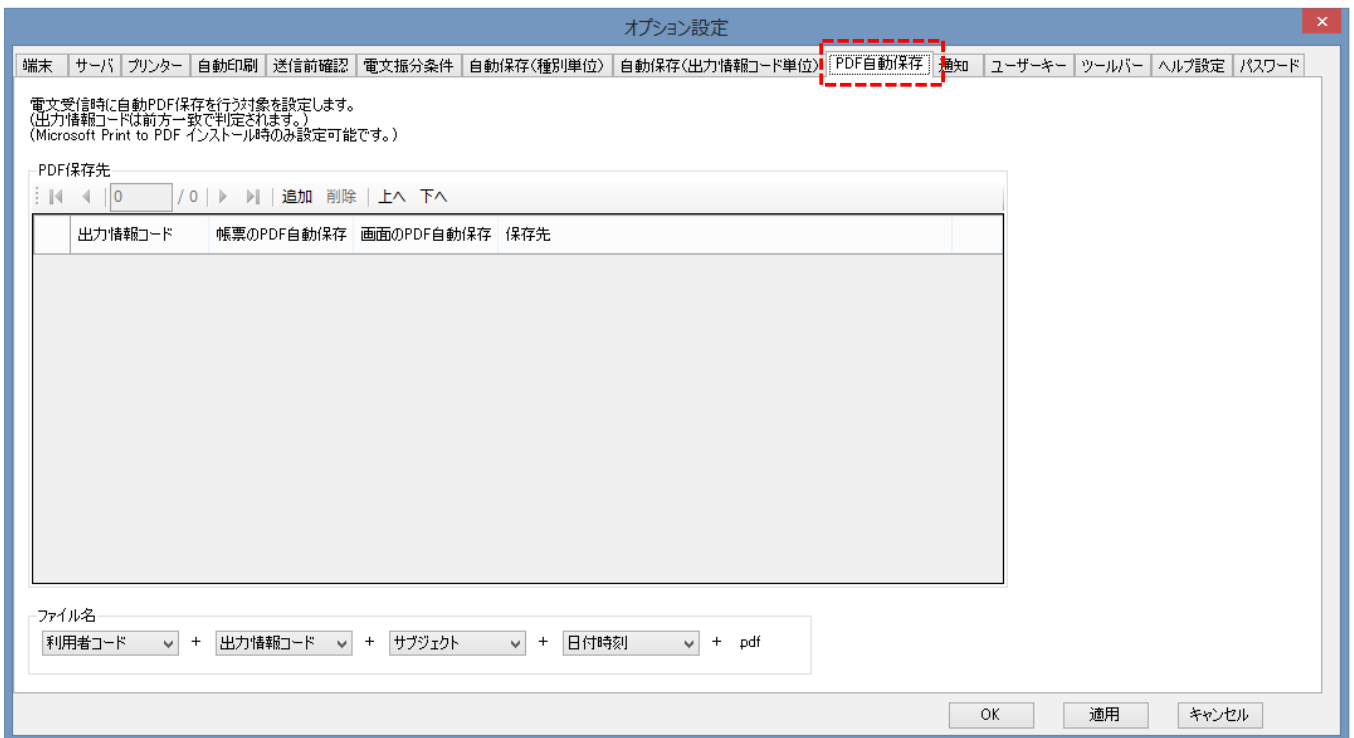
1. 変更内容

(1) 受信電文の PDF 形式での自動保存機能の新規追加

① [オプション設定]ダイアログの変更

(ア) [オプション設定]ダイアログへのタブ追加

[オプション設定]ダイアログに[PDF 自動保存]タブを新規追加する。



(イ) [PDF 自動保存]タブ

出力情報コードごとに画面電文・帳票電文それぞれの PDF 自動保存有無とその保存先を設定可能とする。

出力情報コードは、世代を除く 6 桁以下で指定可能とする。

なお、設定された出力情報コードは、PDF 自動保存時に前方一致で判定が行われる。

② PDF 自動保存処理の新規追加

(ア) 保存判定

[オプション設定]ダイアログの [PDF 自動保存] タブに登録されている出力情報コードを受信した場合、当該電文種別の設定値に基づき、PDF 自動保存の実施有無を判定する。なお、複数の条件に合致する場合は、上位に設定された条件で処理を行う。

例) 下記設定値の場合の PDF 自動保存の実施有無は下表のとおり。

出力情報コード	帳票のPDF自動保存	画面のPDF自動保存
CAL	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CA	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

項番	受信電文		PDF 自動保存
	出力情報コード	帳票／画面	
1	CAL から始まる	帳票	される
2		画面	されない
3	CA から始まり、 CAL から始まらない	帳票	されない
4		画面	される
5	C から始まり、 CA から始まらない	帳票	される
6		画面	されない
7	C から始まらない	帳票／画面	されない

(イ) ファイル名

PDF ファイルに保存する場合のファイル名は、[PDF 自動保存]タブで設定された「ファイル名」に従い編集する。

ただし、PDF ファイル保存時に同名のファイルが存在した場合は、上書きせずに枝番を付与して保存する。

ファイル名：[利用者コード][出力情報コード][サブジェクト][日付時刻][枝番(1～n)].pdf

(ウ) 順次保存処理

大量の保存要求が行われる PDF 自動保存については、保存対象の電文を PDF 保存待機キューに登録し、キューに対し順次 PDF 保存処理を行う。

これにより、電文送受信処理に遅延が発生しないようにする。

(エ) PDF 保存方法

PDF 自動保存は、Windows 10 標準搭載の「Microsoft Print to PDF」を使用する。

そのため、Windows 8.1 を使用している等で「Microsoft Print to PDF」がインストールされていない場合は、PDF 自動保存は行われない。

また、オプション設定の [PDF 自動保存] をグレーアウトする。(タブの説明文に「Microsoft Print to PDF」がインストールされている場合のみ使用可能である旨を記載)

(オ) PDF 手動保存処理の新規追加

PDF 自動保存処理に失敗した場合等を考慮し、手動での PDF 保存も可能とする。

起動方法は、メイン画面または業務画面のメニューまたは右クリックメニューからとし、ユーザーキー設定機能およびツールバーカスタマイズ設定機能を使用した起動も可能とする。

手動で PDF 保存処理が起動されると[ファイル保存]ダイアログを表示し、利用者にて指定した保存先ディレクトリおよびファイル名に PDF 保存する。なお、[ファイル保存]ダイアログの初期表示は、[オプション設定]ダイアログの[PDF 自動保存]タブに設定されている「ファイル名」および PDF 保存対象電文の設定値に基づく「保存先」とする。ただし、受信電文以外の「ファイル名」は「業務コード_日付時刻」とする。

また、複数電文の一括 PDF 保存処理も可能とする。送受信電文一覧にて複数電文を選択し、手動で PDF 保存処理を起動することで実施可能とし、利用者にて指定した保存先ディレクトリに PDF 保存する。なお、ファイル名については [オプション設定]ダイアログの[PDF 自動保存]タブに設定されている「ファイル名」に基づき自動で設定する。ただし、受信電文以外の「ファイル名」は「業務コード_日付時刻」とする。

(カ) 送受信電文一覧への PDF 保存状態の表示追加

送受信電文一覧に PDF 保存状態の表示列を追加する。

また、PDF 自動保存された電文は、送受信電文一覧に PDF 保存済みアイコン表示したうえで、開封状態とする。

<送受信電文一覧イメージ>

		A/S	業務コード	出力コード	入力No	形式	処理結果コード	業務固有情報
		S	IDB	*SIDB	IDB	Q	00000-0000-0000	11012345000
		S	IDB	SAD4190	IDB	Q		11012345000
		S	IDA	*SIDA	IDA, SID	Q	00100-0000-0000	11012345000
		S	IDA	SAD0AA0	IDA, SID	Q		11012345000
		C	TCC	CA00010				
		S		SAE1LF0		Q		430000100011
		S		SAE1LF0		Q		430000100012
		S		SAE1CJ0		Q		430000100020
		S		SAE1LF0		Q		430000200020
		S		SAE1LF0		Q		430000200021
		S		SAE1LF0		Q		430000200022

<PDF 保存済みをアイコンイメージ>



2. 変更対象業務

- ・NACCSパッケージソフト本体

3. リリース予定日/サービス開始予定日

(1) 端末資材

端末資材：2022年03月29日（火）16：00